

# ほっかいどうの社会保障

2015年8月9日 北海道社会保障推進協議会 Tel:011-758-2648 FAX:758-4666

## どこに住んでいても必要な医療が受けられる北海道に 道内で1万床以上の削減？ 地域医療構想検討はじまる

北海道は、医療介護総合法に基づき、「地域医療構想」の検討を始めました。今も、地域医療の体制は厳しく、必要な医療が受けられない深刻な実態が広がっています。構想作成に当たっては、地域の実態や住民の要求を踏まえ、地域に必要な医療提供体制をつくる構想にすることが必要です。

### 医療過疎 高齢者人口が増える中、病床数大幅減の推計

7月24日には、北海道総合保健医療協議会・地域医療専門委員会が開かれ、「地域医療構想」の策定方針が検討されました。

会議には、議論の基礎として、国から提供されてデータに基づいて、厚生労働省令で定められた算式により、2次医療圏ごとに2025年において必要となる医療の規模（病床数）の推計が報告されました。

推計は、2つの推計値が出され、必要病床数が最大値でも、2013年の病床数と比べて10,486床減で、最小値の場合は、15,047床の減です。

今でも、医療提供体制が縮小され、必要な医療が受けられない地域が広がっています。2025年には、2010年と比べて、高齢者人口が24%増、32万8千人増えます。

推計では、高齢者人口がほとんど変わらないのに、およそ半分に減る地域もあります。

2次医療圏 21医療圏	2013年 ①	2025年厚労省令による病床数案		65歳以上 人口比較 2025/2010
		最大値	①との比	
南渡島	6,130	4,848	▲20.9%	+14.5%
南檜山	450	245	▲45.6%	▲2.6%
北渡島檜山	1,005	543	▲45.9%	▲1.1%
札幌	36,265	35,726	▲1.5%	+47.1%
後志	3,471	2,919	▲15.9%	▲1.3%
南空知	2,390	1,923	▲19.5%	+5.1%
中空知	2,114	1,607	▲24.0%	▲3.3%
北空知	747	522	▲30.2%	▲7.0%
西胆振	3,872	2,823	▲27.1%	+7.4%
東胆振	2,441	2,458	0.7%	+28.2%
日高	758	636	▲16.1%	+8.2%
上川中部	7,223	5,614	▲22.3%	+21.0%
上川北部	1,021	791	▲22.5%	▲1.4%
富良野	539	486	▲9.9%	+6.0%
留萌	768	561	▲27.0%	+0.0%
宗谷	775	581	▲25.0%	+3.6%
北網	3,323	2,447	▲26.4%	+16.2%
遠紋	1,210	777	▲35.8%	▲0.0%
十勝	4,741	4,060	▲14.4%	+22.7%
釧路	3,697	3,009	▲18.6%	+17.8%
根室	616	495	▲19.6%	+20.0%
合計	83,556	73,070	▲12.6%	+24.2%

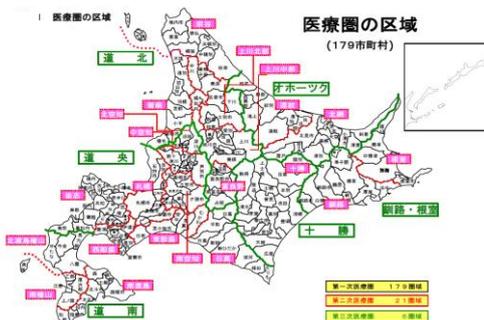
#### 厚労省令による推計

○慢性期の場合 入院受療率の差を解消

【最小値】 全ての構想区域が全国最小値（県単位）まで入院受療率まで低下させる

【最大値】 各構想区域の入院受療率を全国最小値との差を一定に割合に解消させる。全国最大値（県単位）が全国中央値まで低下させる

### 2次医療圏ごとに「調整会議」で議論はじまる 医療要求に基づき、まちぐるみの取り組みを



圏域ごとに「地域医療構想調整会議」が開かれ、来年2月～3月の予定で各区域の案を作成する予定です。

国は、地域域医療構想は「あくまでも自主的取り組みが基本」と通知を出しています。北海道も、推計について、病床を強引に削減していくものではなく、今後、全道、道内各地で地域医療構想の策定に向けて議論を行う基礎と説明しています。

調整会議は原則公開で、医療機関のみならず、患者・住民、行政等への積極的な情報を提供することになっています。

各地域で、住民の医療要求を出し合い、必要な地域の医療提供体制について、医療関係者をはじめ自治体とも懇談、働きかけ、まちぐるみの取り組みをすすめてみましょう。